

宮津ふるさとの森を育てる協議会

平成20年度事業報告

規約 前文

宮津与謝地域の約8割を占め、美しい自然景観を創り出す森林は、日本三景天橋立の借景を織りなし、地球温暖化の防止や土砂災害の防止、水源のかん養、また、動植物・魚類等の生息の場など、私たちに豊かな恵をもたらしています。

現在、この美しい森林は、森林を守り育ててきた方々の高齢化や後継者不足、また、社会経済の波におされ、その豊かな恵みを維持することが困難となっています。

未来に向けて自然豊かな美しい森林を引き継ぐことが、私たちの責務であり、ここに、森林所有者だけでなく、地域住民、NPO団体、企業、行政がひとつになって、宮津与謝の森林を守り育むことを宣言します。

※賛同いただいた29の団体の皆様と共に、昨年6月15日に、協議会を設立しました。



I 森づくりの実践

①設立記念植樹祭『育てよう四季のもり 2008』

日 時：平成20年11月1日（土曜日）

場 所：宮津市字小田 大江山シンボルゾーン 約0.32ha

概 要：参加ボランティア146名

植栽樹種：ヒノキ、上宮津スギ、カシ、コナラ、クヌギ、イロハモミジ
など 約1,000本



併設イベント



■ 杉山ウォーク
上宮津スギに代表される杉山の自然観察と景観を楽しむ
参加 35 名

■ チェーンソーアート
とミニ林業祭



■ 農林産物直売所
(協力団体：上宮津しその実会)

Ⅱ 啓発活動

①ホームページの開設

②活動報告会の開催

『ふるさとの森林づくり学習会—語ろう・考えよう、未来の森づくり』

日時：平成 21 年 3 月 7 日(土曜日) 午後 1 時 30 分から

場所：みやづ歴史の館 2 階 大会議室

概要：森林総合研究所関西支所主任研究員 奥敬一先生を座長に、府内でモデルフォレスト運動を展開している企業等のリーダーをお迎えし、未来の森づくりについて知識を深めました。

参加者：56 名（府・市のスタッフを含む）